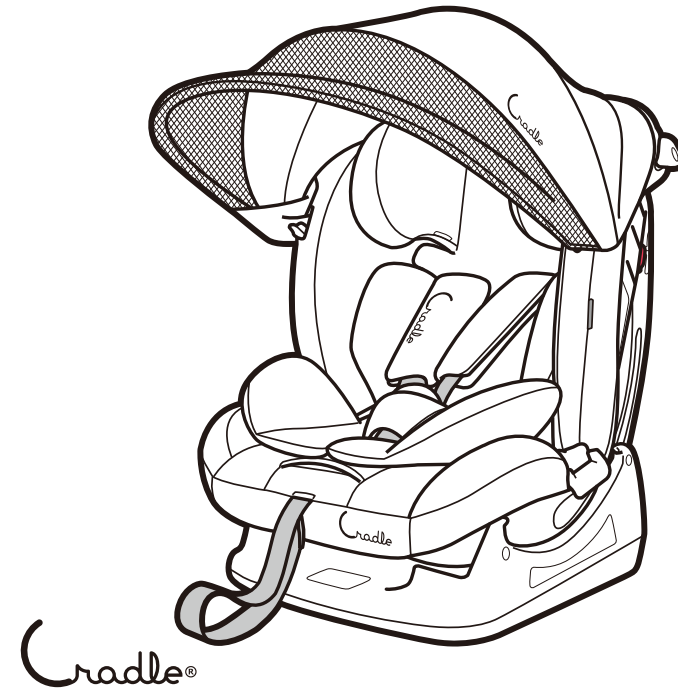
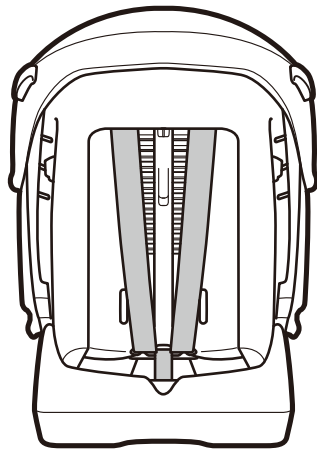


クレイドル・オーカ ロングⅡ

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。

クレイドル・オーカ ロングⅡ



ECE R44/04
UNIVERSAL
0-18kg Y
15-36kg
E8
0411815
AY913

企画・販売



株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日~金曜日 ※弊社休日を除く)

☎0120-034-017

受付時間/AM10:00~12:00・PM1:00~5:00

CR7000-2021-07

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に

本装置について

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両の『取扱説明書』に、「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置は正しく取り付けできます。
- 本装置は、3点式シートベルトを装備されている座席のみご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。
- チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子様の傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子様を無傷で守るものではありません。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

目次	●ご使用になる前に	本装置について……………	1
		ご利用にあたって……………	2
		ご使用いただけるお子様の目安……………	2
	●取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点	取り付けできる3点式シートベルト……………	3
		取り付けできない座席……………	4
	●安全にご使用いただくために……………		5
	●各部の名称……………		9
	●各部の使い方	バックル・タングの使い方……………	11
		リクライニングの調節……………	12
		肩ベルトの長さ調節……………	13
		ヘッドサポート・肩ベルトの位置調節……………	14
		インナークッションの使い方……………	15
		サンシェードの使い方……………	16
	●ベビーシート(後ろ向き)としての使い方	取り付け方……………	17
	●チャイルドシート(前向き)としての使い方	取り付け方……………	21
	●ジュニアシート(前向き)としての使い方	ご使用になる前に……………	25
		お子様の乗せ方……………	27
	●お子様の乗せ方・降ろし方……………		29
	●お手入れのしかた	取り外し方1・2……………	31
		取り付け方1・2……………	34
	●各部のお手入れ	カバー・パッド・クッション……………	37
		本体・ベルト・バックル等……………	37
	●保証規定／保証書……………		38

ご利用にあたって

●本書を読んでいただくためのポイントマークについて…

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。



警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。



注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用いただけるお子様の目安

- 本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用前にお子様に合った取り付け方を確認し、ご使用ください。

ベビーシート

〈グループ0+〉

車両のシートベルトで本装置を固定、
本装置のベルトでお子様を拘束します。

〈適応体重〉

2.5kg以上13kg未満

〈年齢の目安〉新生児～1歳頃
〈身長目安〉60～80cm未満

チャイルドシート

〈グループ1〉

〈適応体重〉

9kg以上18kg以下

〈年齢の目安〉1歳頃～4歳頃
〈身長目安〉75～100cm以下

ジュニアシート

〈グループII,III〉

車両のシートベルトで
お子様を拘束します。

〈適応体重〉

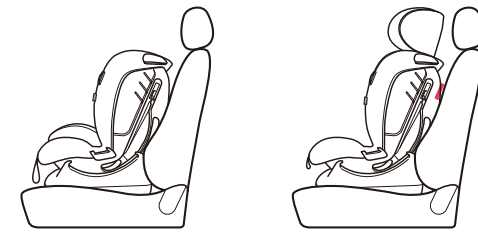
15kg以上36kg以下

〈年齢の目安〉3歳頃～11歳頃
〈身長目安〉95～138cm以下

車両の進行方向に対し
必ず後ろ向きで
使用します。



車両の進行方向に対し
必ず前向きで使用します。



警告

お子様の体重が9kgを超えるまで、前向きではご使用いただけません。また、決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。座らせた際に、頭頂部が本装置から出るお子様はご使用いただけません。

補足

「年齢・身長目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

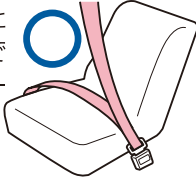
取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

2点式シートベルトの座席には取り付けられません。

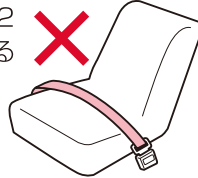
3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト。



2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



取り付けできる3点式シートベルト

■ELR式シートベルト〈緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ゆっくり引き出すと自由に出入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

■AELR式シートベルト〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

■NLR式シートベルト〈非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

■ALR式シートベルト〈自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

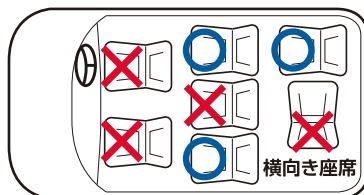
■マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。

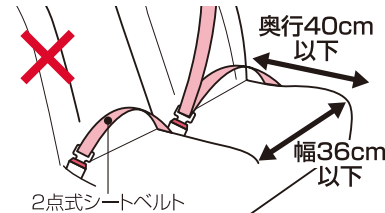
※必ず弊社「車種別適合表」をご確認ください。



○取り付け可能 ×取り付け不可

取り付けできない座席

- シートベルトが装備されていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- 座面の奥行が40cm以下の座席。
- 座面の幅が36cm以下の座席。



- 助手席には決して取り付けないでください。

- エアバッグが装備されている座席。
※サイドエアバッグのみの場合はご使用いただけません。

- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。

※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付け可能になる場合があります。

- 受け側のバックルベルトが長い場合、車両のバックルやタングが本装置とあたって、シートベルトが緩み、しっかり締め付けができない座席。



- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。

- 横向きや後ろ向きの座席。

- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。

- 本装置の車両シートベルト通し穴よりも、車両のバックルが前に出ている座席。



- 自動式ショルダールベルト(パッシブシートベルト)※が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。

- シートベルトの取り付け部が上下(肩ベルト・腰ベルト)とも、巻き取り式のシートベルト。



安全にご使用いただくために

警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。

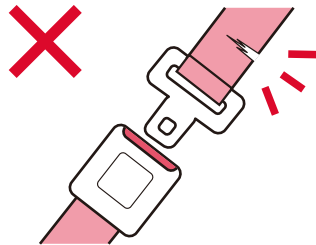
※安全上、前座席にはご使用いただけません。

※お子様の体重が9kgを超えるまで、前向きではご使用いただけません。

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。



- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者に傷害を及ぼすおそれがあります。
- お子様がバックルボタンを押してしまうおそれがありますので、時々タングがバックルから外れていないかを確認してください。

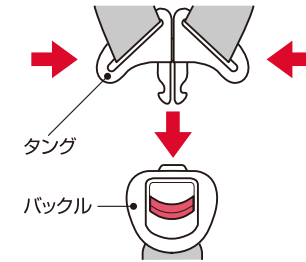
5

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。

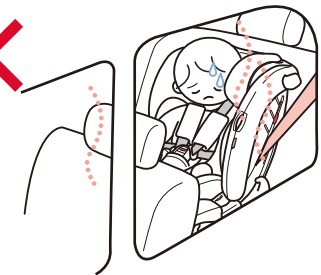


- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席のリクライニング操作や移動をすると、取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

- 左右のタングをきちんと重ね合わせてから、バックルに差し込んでください。



- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。

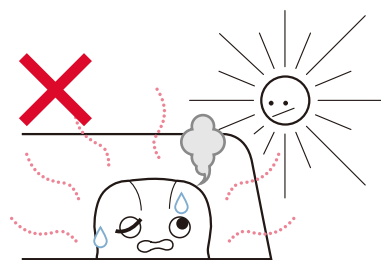


6

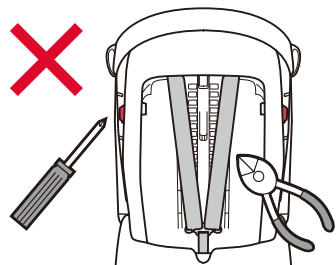
安全にご使用いただくために

警告

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になります。



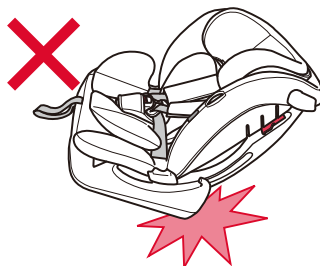
- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。



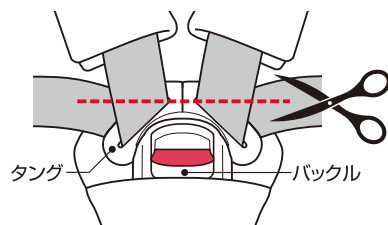
- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。

- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押ししても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。



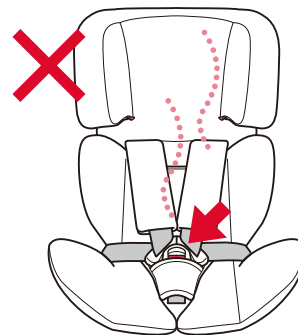
7

注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

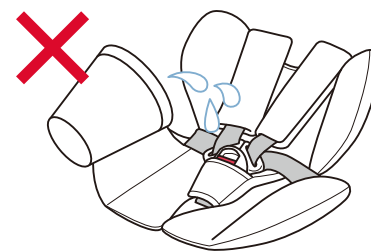
- 直射日光が当たったり、夏の日差しが強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタングなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。



- 車両内に傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをする場合があります。

- 本装置を座席の可動部やドアに挟まないように注意してください。

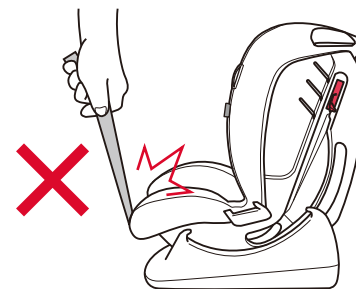
- 本装置のバックルや可動部分に、水・ジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。



- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

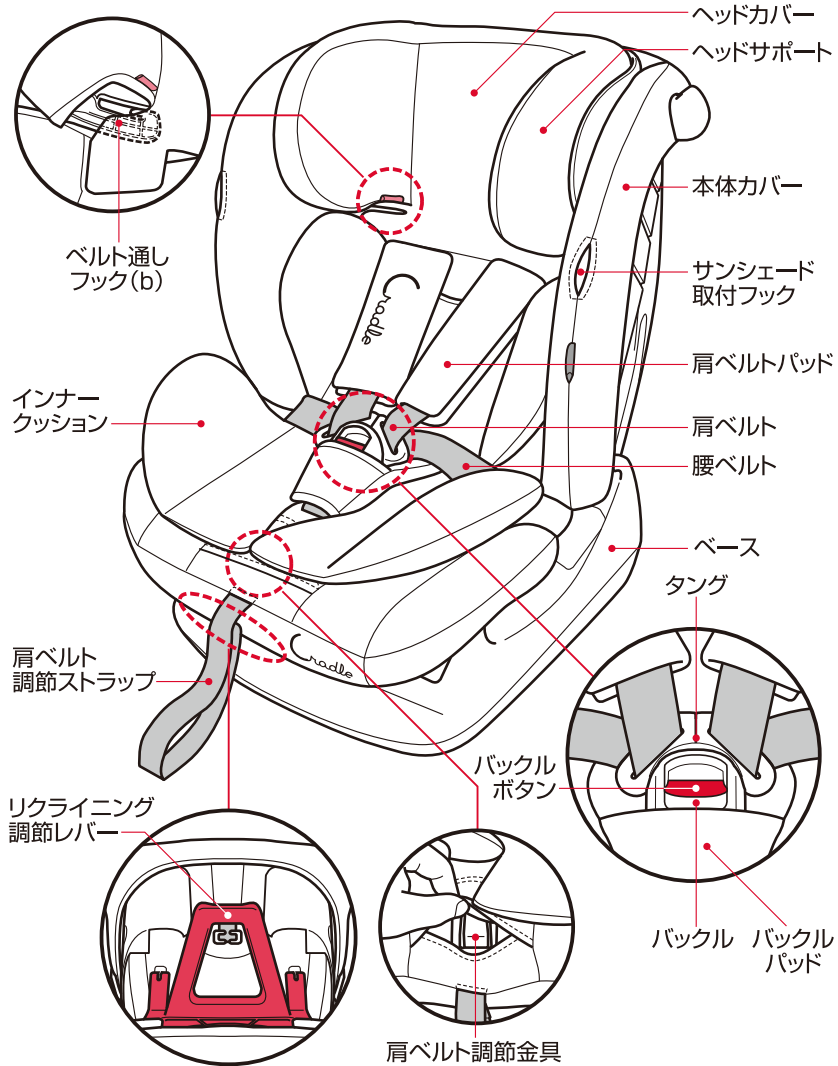
- 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



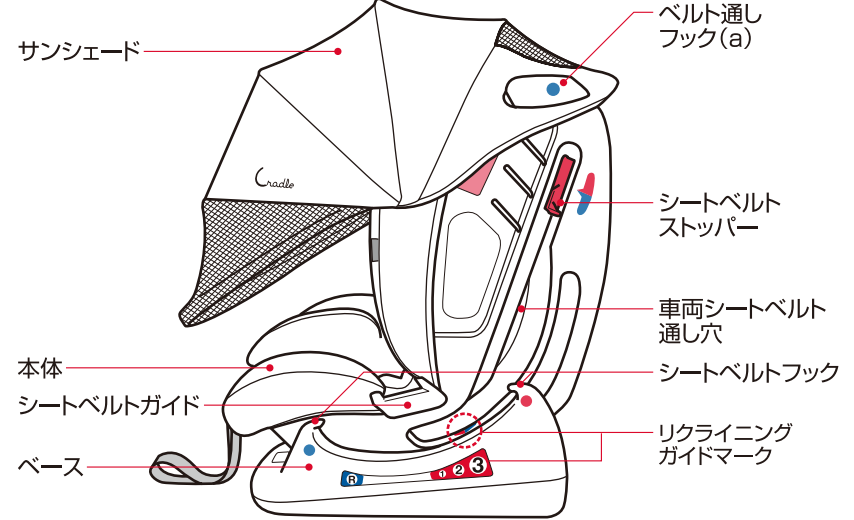
8

各部の名称

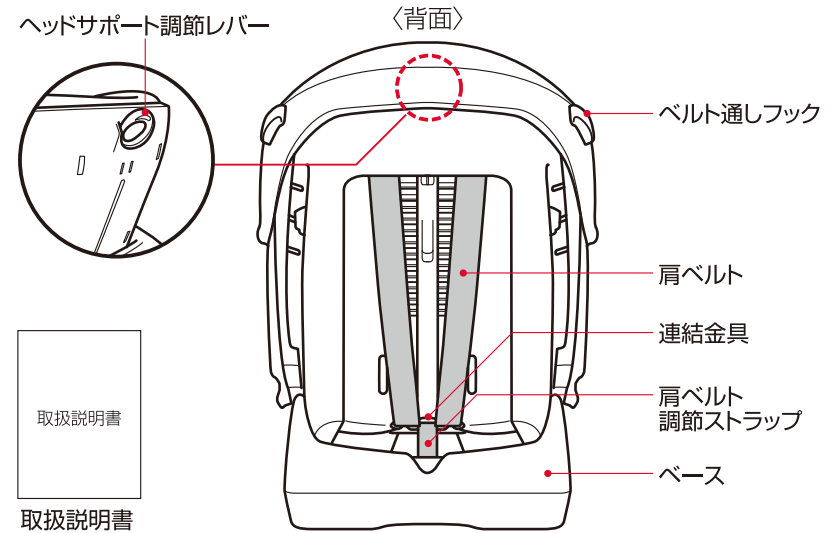
〈正面〉



〈側面〉



〈背面〉



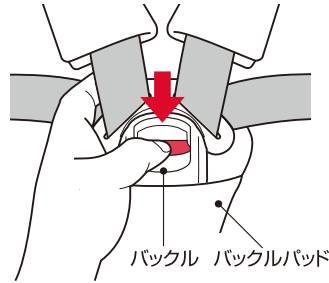
取扱説明書

各部の使い方

バックル・タングの使い方

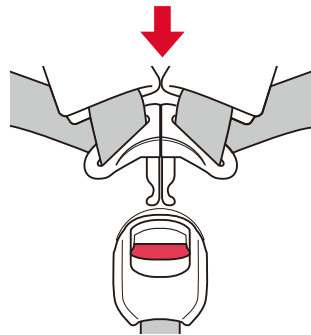
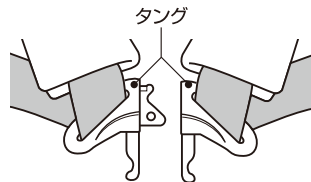
1

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押し、タングをバックルから解除し、お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



2

お子様を座らせ、左右の肩に肩ベルトを掛け、タングを合わせます。タングをバックルに、「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



バックルとタングをセットした際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



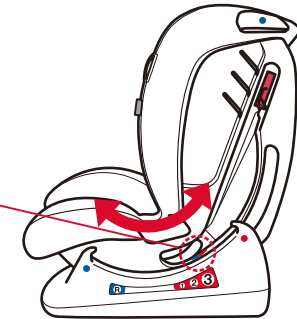
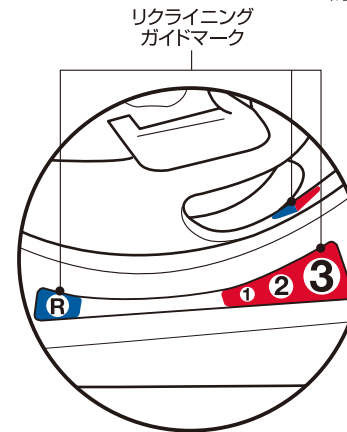
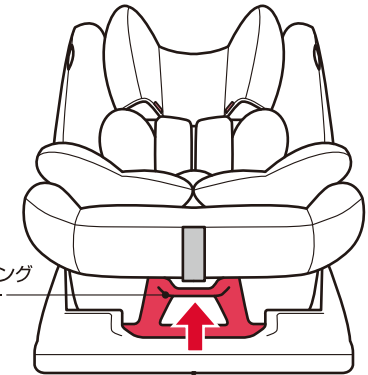
タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。バックルに片方のタングのみを差し込まないでください。タングが抜けなくなる場合があります。



バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

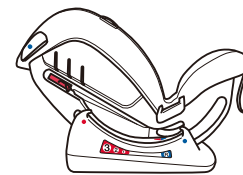
リクライニングの調節

リクライニング調節レバーを持ち上げながら本体をスライドさせ、リクライニングガイドマーク(▲前向き3段階・▲後ろ向き1段階)を適正な位置に合わせます。リクライニング調節レバーを離すと本体が固定されます。



後ろ向き

R

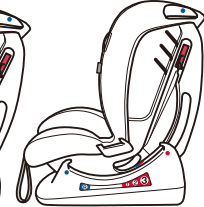
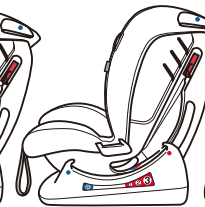
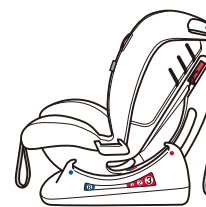


前向き

1

2

3



各部の使い方

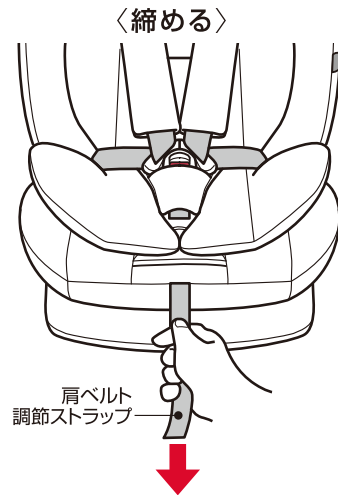
肩ベルトの長さ調節

1

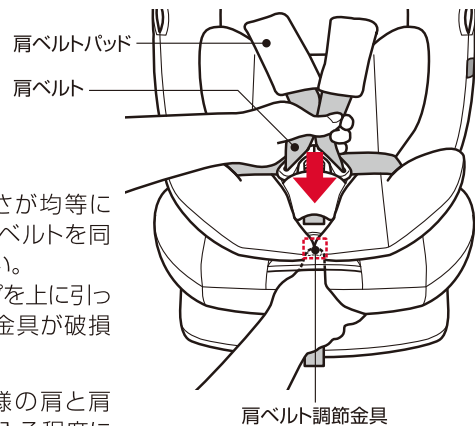
肩ベルトの調節は、肩ベルト調節ストラップを手前に引くと締まります。肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)のみを持って手前に引くと緩みます。

2

肩ベルトの位置調節(右頁)ができましたら、肩ベルト調節ストラップを手前に引っ張り、肩ベルトを締めて、お子様を拘束します。



〈緩める〉



注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

ヘッドサポート・肩ベルトの位置調節

調節する時は、肩ベルトを緩めてからおこなってください。

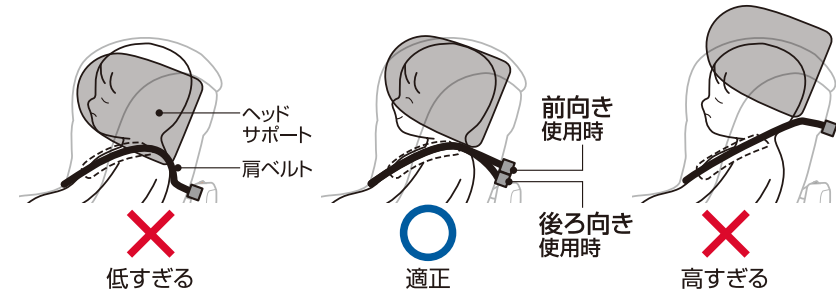
●ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の高さ調節の目安・調節方法

〈後ろ向きでご使用の場合〉

肩ベルトの出口がお子様の肩よりやや低い位置になるように、高さを調節します。

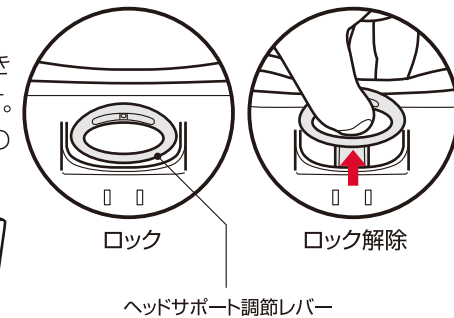
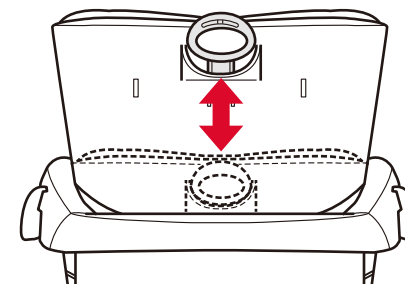
〈前向きでご使用の場合〉

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



〈調節方法〉

ヘッドサポート調節レバーを引き上げて(右図)ロックを解除します。ヘッドサポートを上下させて位置の調節します。



注意

肩ベルトにねじれができないように、注意しながら調節をしてください。

各部の使い方

インナークッションの使い方

●インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

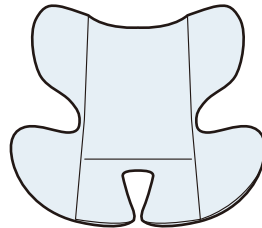
7kg未満のお子様は、インナークッションを取り付けて使用してください。

インナークッションを取り外してよい条件は、7kg以上(6ヶ月頃)で腰と首がすわっていること。

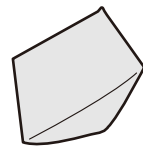
ベルトがきつい場合は、インナークッションの裏側にある三角パッドを抜いてください。(お子様の位置が下がり、ベルトにゆとりができます。)

表:メッシュ生地<ブラック>
通気性に優れています

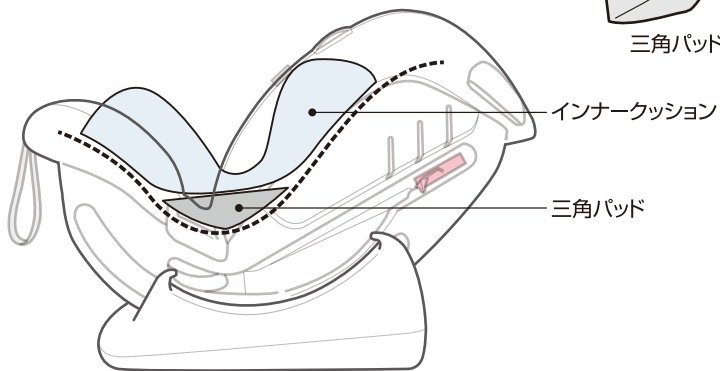
裏:ニット生地<グレー>
柔らかい肌触りです



インナークッション



三角パッド



インナークッション

三角パッド

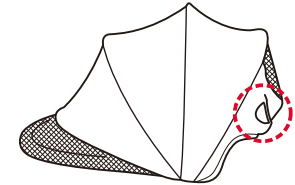
サンシェードの使い方

●本装置を後ろ向きでご使用される場合は、車両に設置する前にサンシェードを取り付けてください。

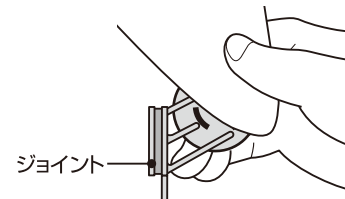
サンシェードに付いている穴(右図)をベルト通しフック(a)に掛け、サンシェードを広げます。

サンシェードのジョイントとサンシェード取付フックの溝を合わせ、ジョイントをまっすぐ下側に差し込んで固定します。

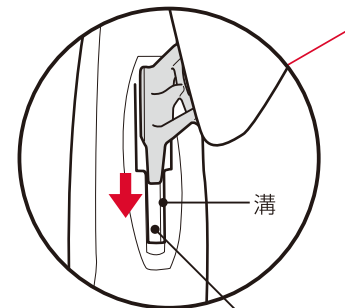
※差し込む際、誤った取り付けをするとサンシェードが外れやすくなります。



ベルト通しフック(a)

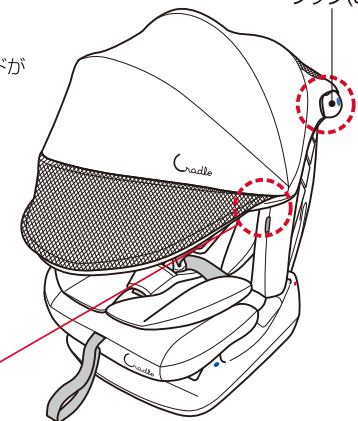


ジョイント



溝

サンシェード取付フック



補足

サンシェードを取り付けるときは、サンシェードを広げた状態で作業をすると楽に取り付けできます。

注意

本装置のヘッドサポートからお子様の頭頂部が出る場合は、ご使用いただけません。走行時は、窓を開けてのご使用はしないでください。サンシェードが動くなどして、お子様がケガをするおそれがあります。

ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



●サンシェードを取り付ける

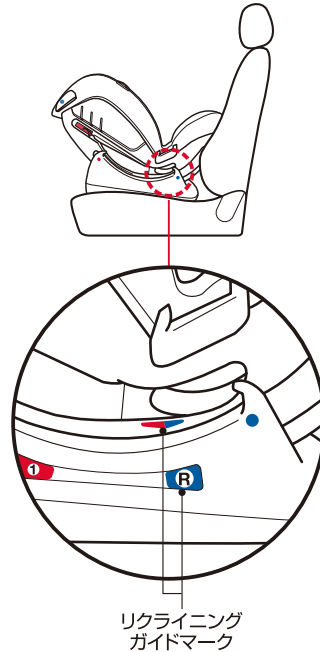
サンシェードを使用される場合は、本装置を設置する前に取り付けてください。(P16参照)



1

リクライニングガイドマーク(▲R)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、後ろ向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



リクライニング
ガイドマーク



警告

エアバッグを装備している助手席には、絶対に取り付けしないでください。

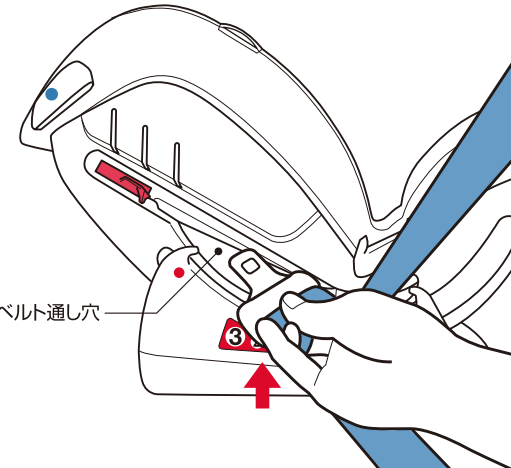


注意

本装置と、車両の背もたれ・座席との間に隙間がないようにしてください。

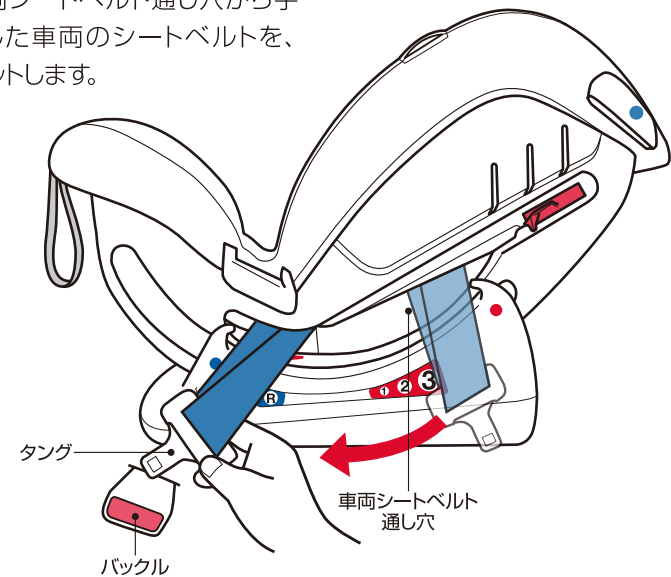
2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。



3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出した車両のシートベルトを、バックルにセットします。



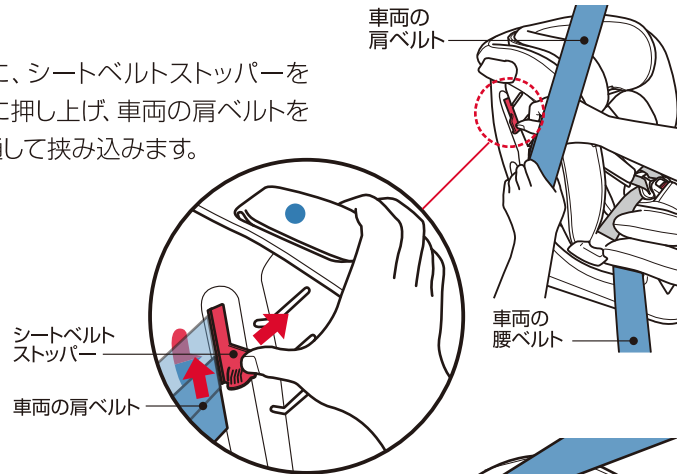
ベビーシート(後ろ向き)としての使い方

取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

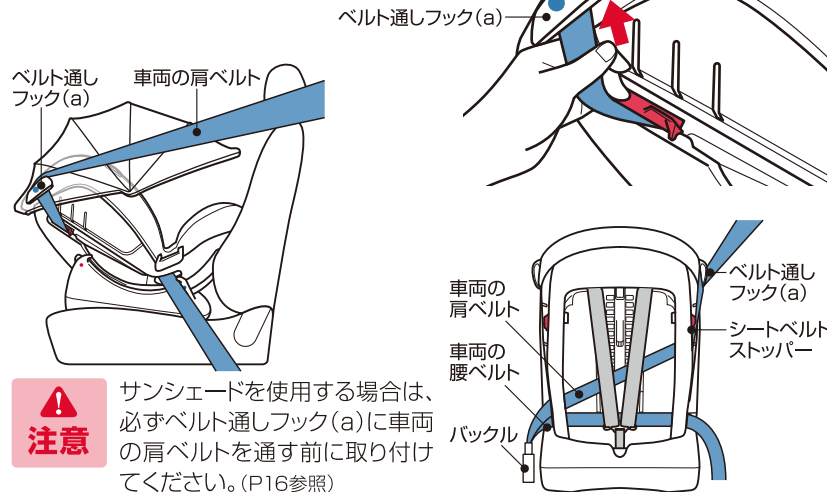
4

下図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通して挟み込みます。



5

本装置のベルト通しフック(a)に、車両の肩ベルトを通してください。

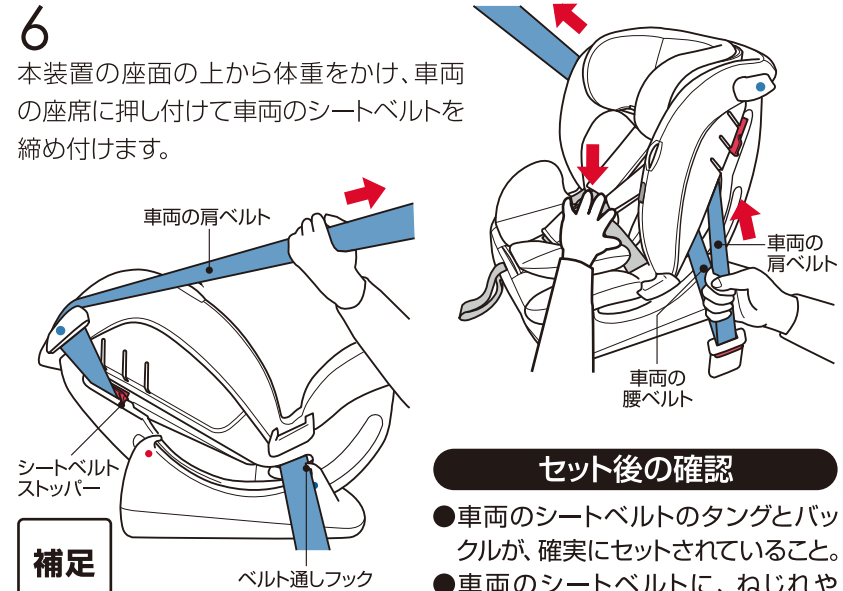


注意

サンシェードを使用する場合は、必ずベルト通しフック(a)に車両の肩ベルトを通す前に取り付けてください。(P16参照)

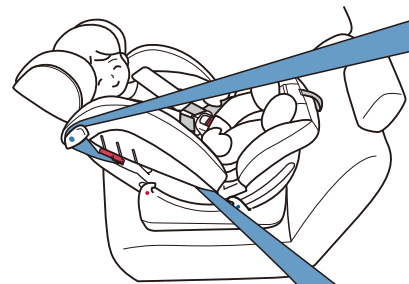
6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



補足

シートベルトストッパーは、1WAY構造となっており、締め付け方向には、そのまま引くことができます。



〈後席左側の取り付けイメージ〉

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、ベルト通しフック(a)・シートベルトストッパーに確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していること。



警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

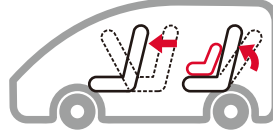
チャイルドシート(前向き)としての使い方

取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前の座席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置または車両の『取扱説明書』で指示されている位置に戻してください。



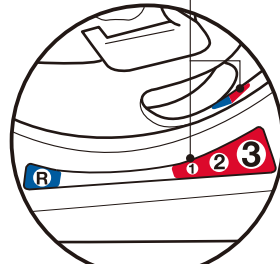
1

リクライニングガイドマーク(▲1~3)に合わせてください。

車両の進行方向に対し、前向きに本装置を置き、車両の背もたれと隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

リクライニング
ガイドマーク



警告 エアバッグを装備している助手席には、絶対に取り付けしないでください。

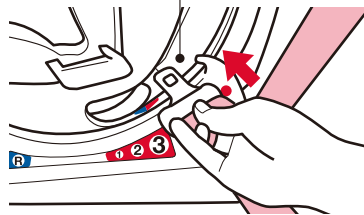


注意 本装置と、車両の背もたれ・座席との間に隙間がないようにしてください。

補足

車両のヘッドレストが本装置に干渉する場合は、上げるか取り外してください。

車両シートベルト
通し穴



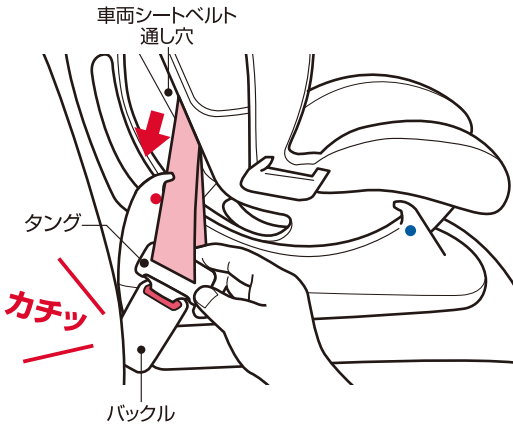
2

車両のシートベルトを、車両シートベルト通し穴(本装置の本体とベースとの間)に通します。

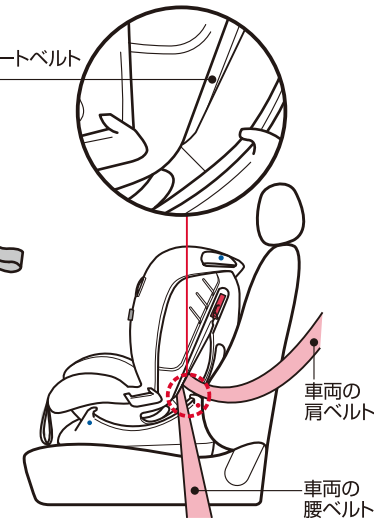
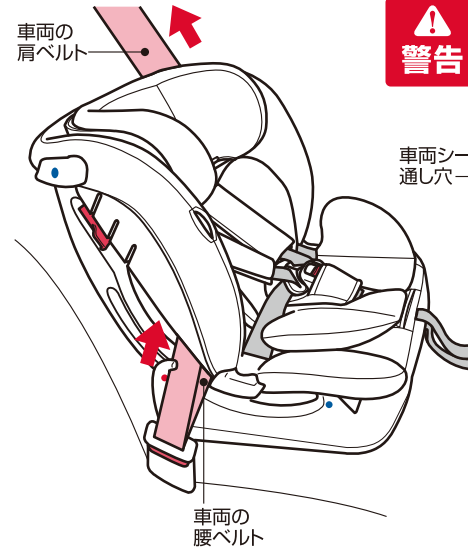
3

反対側の車両シートベルト通し穴から手前に引き出して、ねじれがないかを確認してから車両のバックルにセットします。

バックルにセットした後、肩ベルトを引っ張り本装置を車両の座席に押し付け、腰ベルトを締め付けます。



警告 車両のバックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



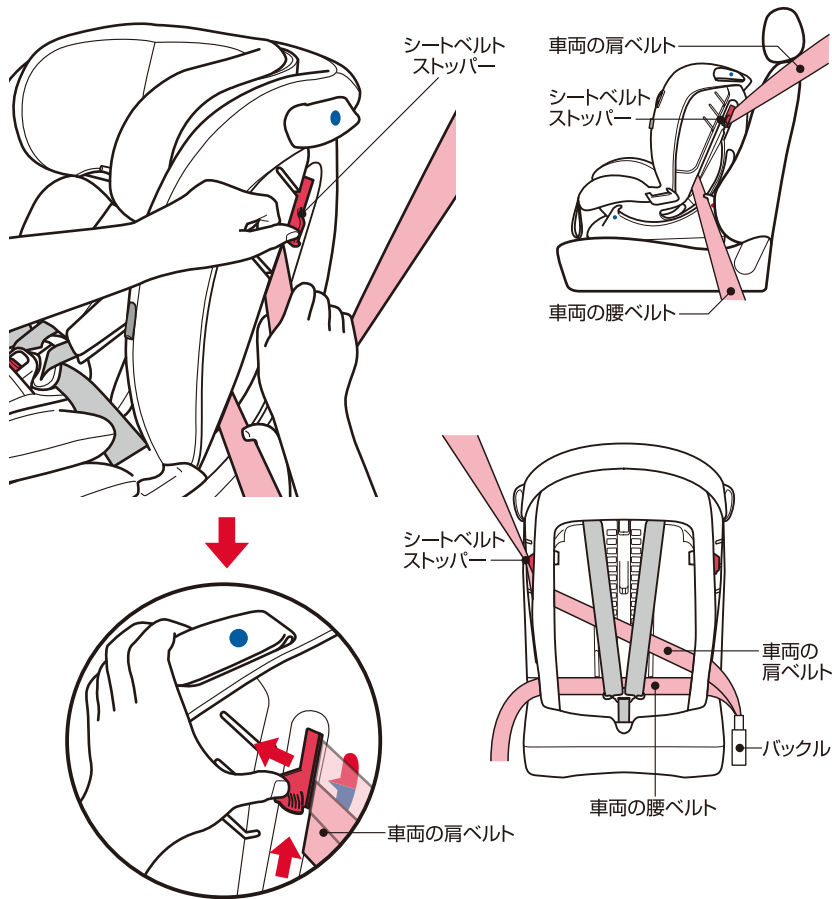
チャイルドシート(前向き)としての使い方

取り付け方

〈後席左側での取り付け例〉

4

下図のように、シートベルトストッパーを矢印の方向に押し上げ、車両の肩ベルトを下から上に通して挟み込みます。



23

5

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



補足

シートベルトストッパーは、1WAY構造となっており、締め付け方向には、そのまま引くことができます。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実に掛かっていること。
- 本装置を前後に揺すって、ぐらつきがなく安定していること。

警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

〈後席左側の取り付けイメージ〉

24

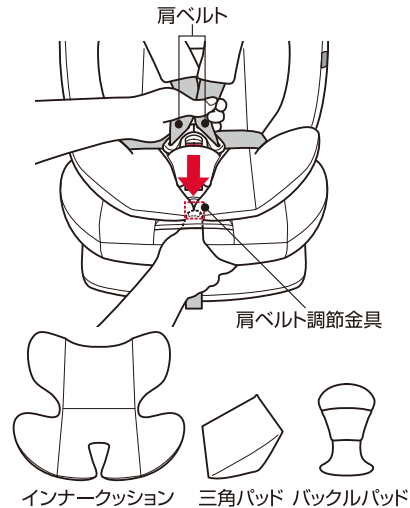
ジュニアシート(前向き)としての使い方

ご使用になる前に

1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除し、インナークッション・三角パッドを本体から取り外します。バックルからバックルパッドを引き抜きます。

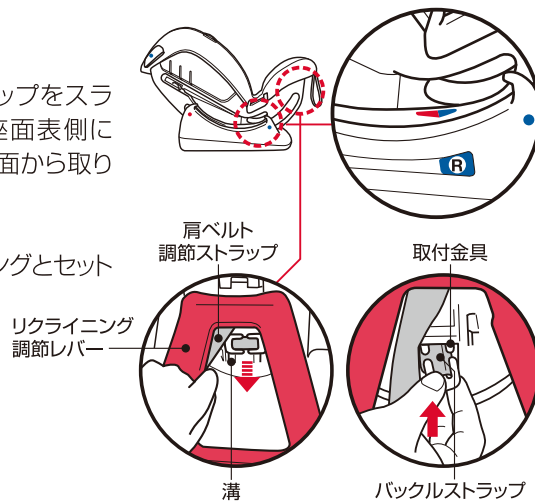


2

リクライニングガイドマーク(▲R)に合わせてください。

取付金具・バックルストラップをスライドさせて溝から外し、座面表側に押し込んで、バックルを座面から取り外します。

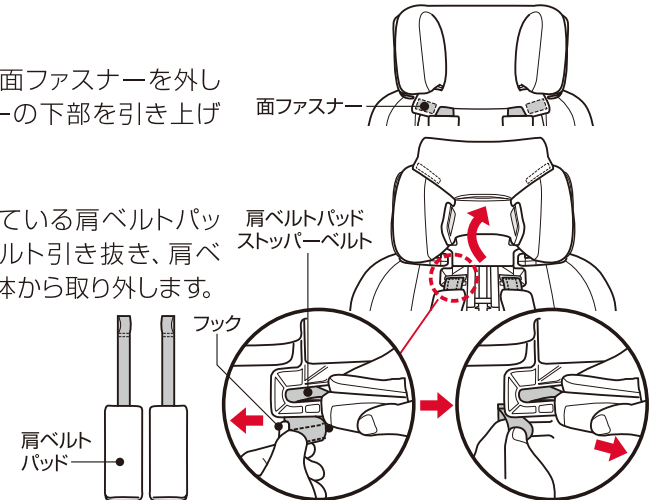
取り外したバックルは、タングとセットして保管してください。



3

ヘッドカバーの面ファスナーを外して、ヘッドカバーの下部を引き上げます。

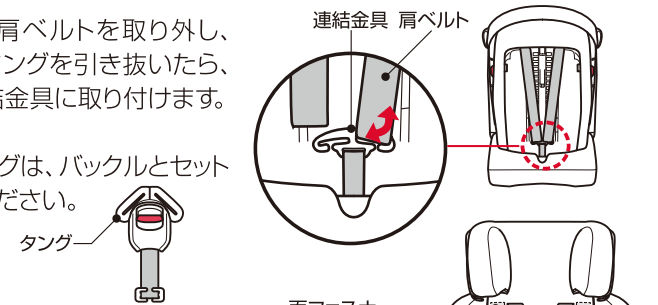
フックに掛かっている肩ベルトパッド・ストッパーベルト引き抜き、肩ベルトパッドを本体から取り外します。



4

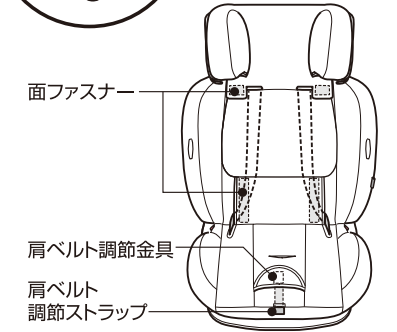
連結金具から肩ベルトを取り外し、肩ベルトからタングを引き抜いたら、肩ベルトを連結金具に取り付けます。

取り外したタングは、バックルとセットして保管してください。



5

本装置のベルトは、ヘッドカバーと本体カバーの面ファスナーを外して、そのカバーの下に収納します。



注意 肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。

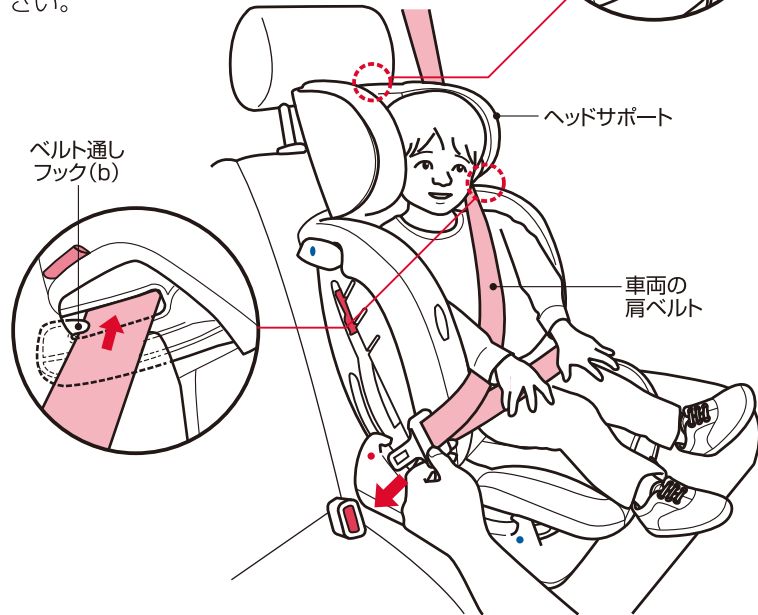
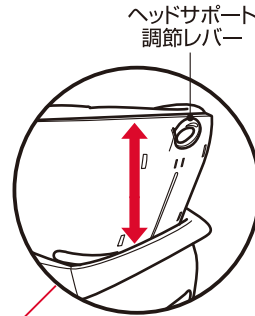
ジュニアシート(前向き)としての使い方

お子様の乗せ方

1

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートをお子様の頭の高さに合わせます。(P14参照)

ベルト通しフック(b)に車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



警告 お子様を座らせた際に頭頂部がヘッドサポートから出ないように、高さを調節してください。

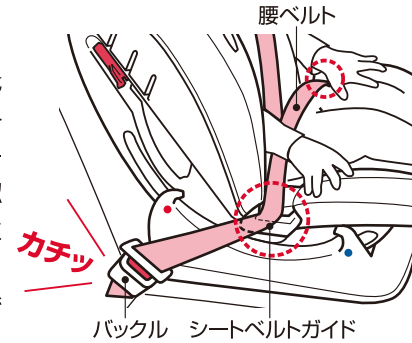


注意 お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるように注意してください。

2

車両の腰ベルトがお子様の腰骨の低い位置にくるようにして、車両のシートベルトのねじれがないか、左右のシートベルトガイドに通っているかを確認してから、タングを車両のバックルにセットします。

バックルが、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



警告 車両のバックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

3

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトの緩みがないように装着してください。



警告 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。



補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

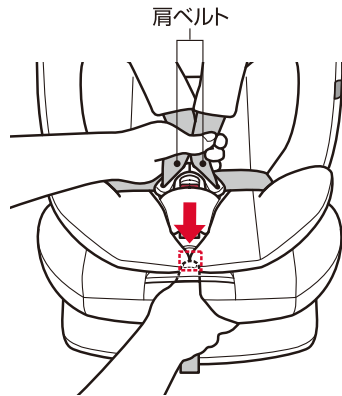
お子様の乗せ方・降ろし方

お子様の乗せ方

●本書P2「ご使用いただけるお子様の目安」を参照して取り付け向きを確認し、お子様に合わせて着座スペースを確保して取り付けてください。

1

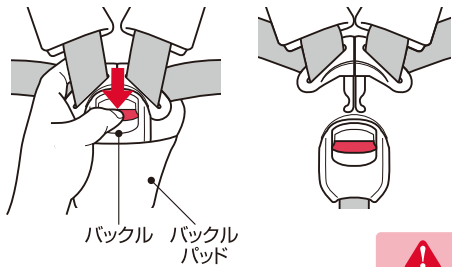
肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト（肩ベルトパッドの下側）のみを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。

肩ベルトを左右に開き、バックルを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。

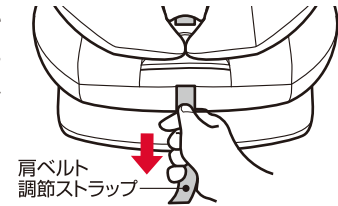


4

腰ベルトに緩みのないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。



肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

●肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

お手入れのしかた

取り外し方-1

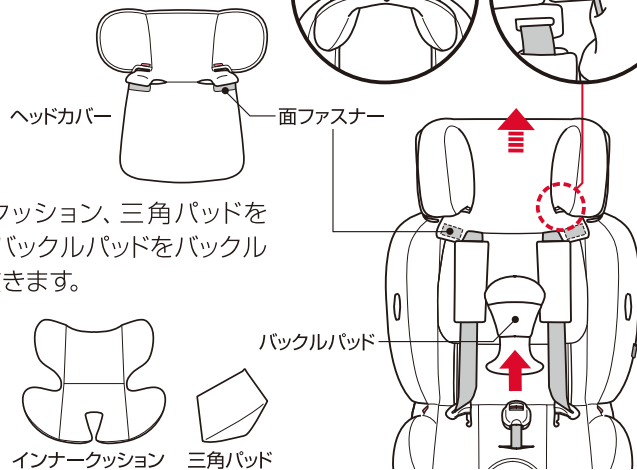
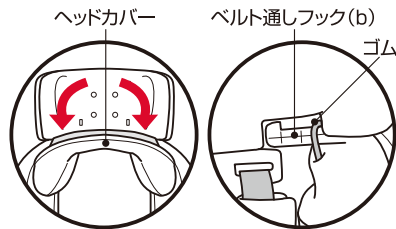
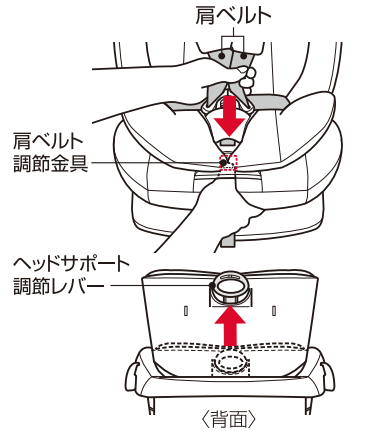
●ヘッドカバー・インナークッション・三角パッドを取り外す

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)のみを持って、手前に引いて肩ベルトを緩めます。

ヘッドサポート調節レバーを引き上げてロックを解除し、ヘッドサポートを引き上げます。

ヘッドカバーを上部から引き抜き、面ファスナーを外し、ベルト通しフック(b)に掛かっているゴムを外してヘッドカバーを取り外します。

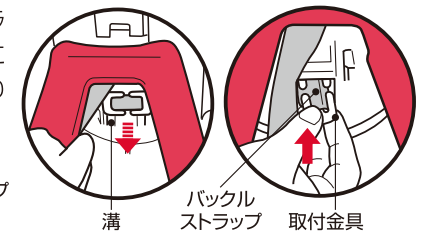
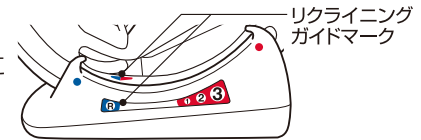
インナークッション、三角パッドを取り外し、バックルパッドをバックルから引き抜きます。



●バックルを取り外す

リクライニングガイドマーク(▲R)に合わせます。

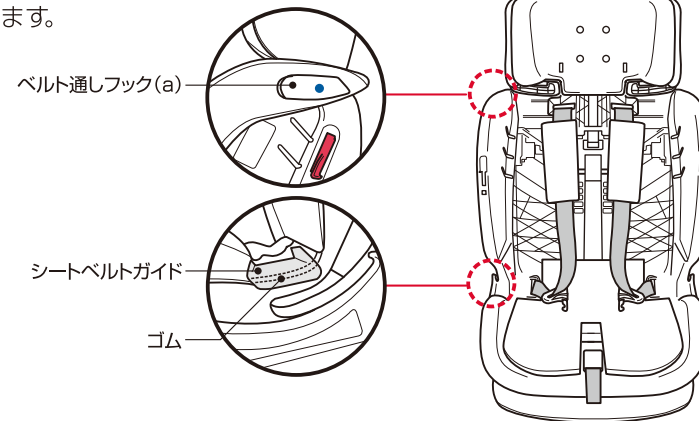
取付金具・バックルストラップをスライドさせて溝から外し、座面表側に押し込んで、バックルを座面から取り外します。



●本体カバーを取り外す

本体カバーの背もたれにある面ファスナーを外します。

シートベルトガイドに掛かっているゴムを外し、ベルト通しフック(a)から本体カバーを引き抜いて取り外します。

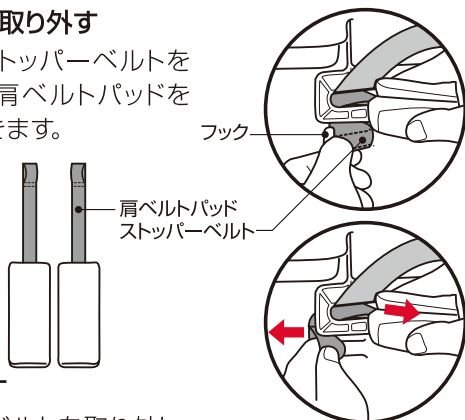


お手入れのしかた

取り外し方-2

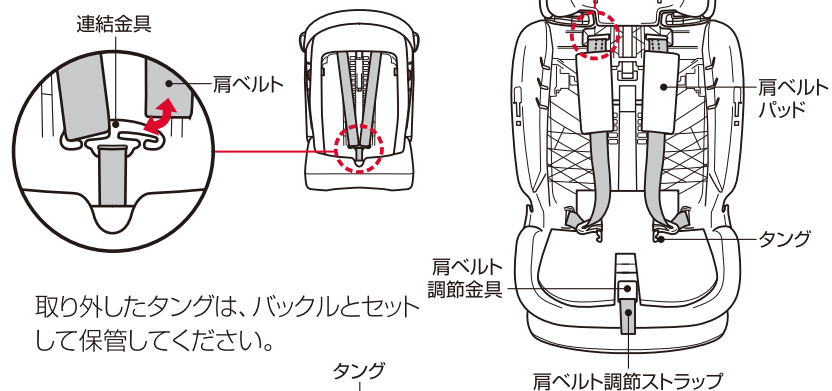
●肩ベルトパッドを取り外す

肩ベルトパッドストッパーベルトをフックから外し、肩ベルトパッドを本体から引き抜きます。



●タングを取り外す

連結金具から肩ベルトを取り外し、肩ベルトからタングを引き抜いたら、肩ベルトを連結金具に取り付けます。



取り外したタングは、バックルとセットして保管してください。

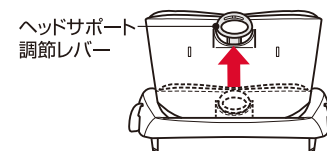


注意 肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。

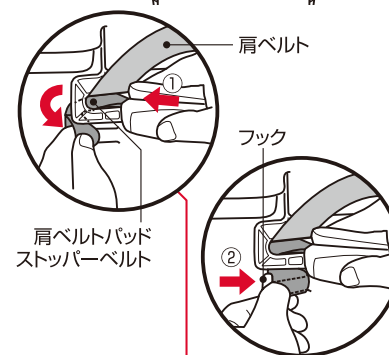
取り付け方-1

●肩ベルトパッドを取り付ける

肩ベルトを緩め(P31参照)、ヘッドサポート調節レバーを引き上げてロックを解除し、ヘッドサポートを引き上げます。



肩ベルトパッドストッパーベルトを肩ベルトの下に通し(①)フックに掛けて固定し(②)、肩ベルトパッドを取り付けます。

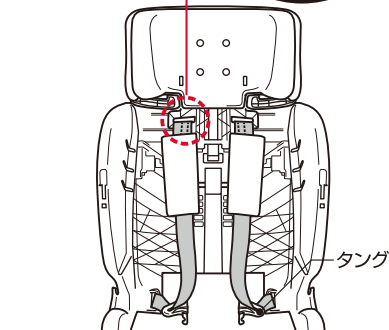


※肩ベルトパッドストッパーベルトが肩ベルトの下に通しにくい場合
肩ベルトパッドストッパーベルトのループ部分に、ヒモ等を通して取り付けてください。

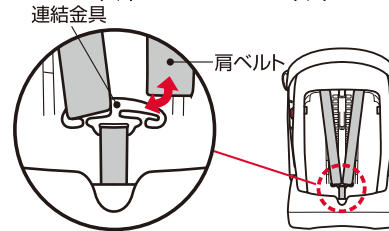


●肩ベルトにタングを取り付ける

連結金具から、肩ベルトを取り外します(右図)。



外した肩ベルトを本体正面に引き出してタングを通します。取り付けたら肩ベルトを背面に通し、連結金具で固定します。

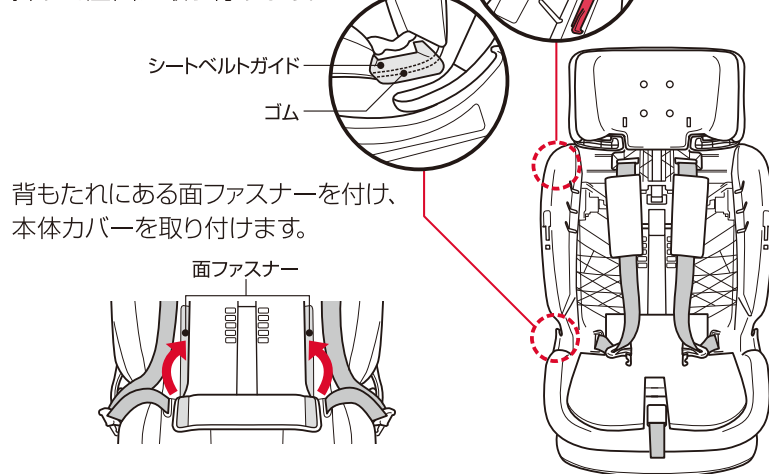


お手入れのしかた

取り付け方-2

●本体カバーを取り付ける

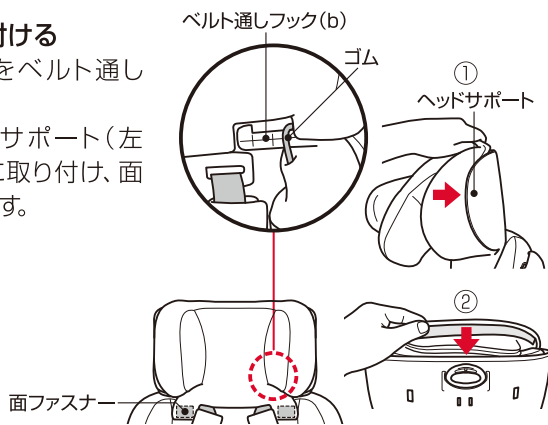
本体カバーをベルト通しフック(a)に通し、シートベルトガイドにゴムを掛けて座面に取り付けます。



背もたれにある面ファスナーを付け、本体カバーを取り付けます。

●ヘッドカバーを取り付ける

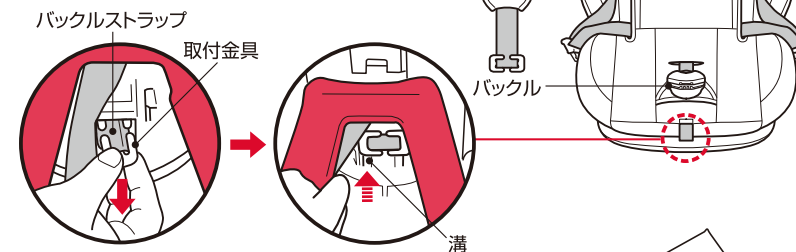
ヘッドカバーのゴムをベルト通しフック(b)に通します。ヘッドカバーをヘッドサポート(左右)①→上部②の順に取り付け、面ファスナーで固定します。



●バックルを取り付ける

リクライニングガイドマーク(▲R)に合わせます(P12参照)。

取付金具・バックルストラップを座面裏側に引き出し、溝に合わせてスライドさせて固定します。(下図)



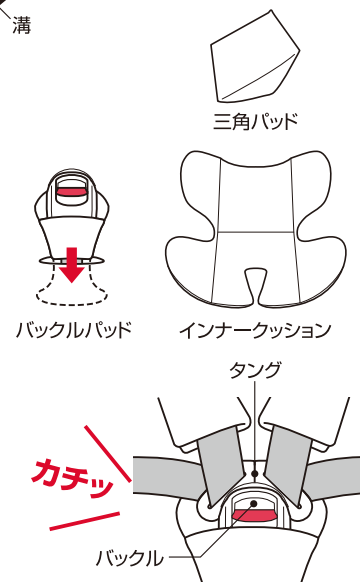
●三角パッド・インナークッション・バックルパッドを取り付ける

三角パッド・インナークッションを取り付けます。

バックルパッドをバックルに通し、バックルパッドの下側を座面カバーの中に押し込みます。

左右のタングを合わせて、バックルにセットします。

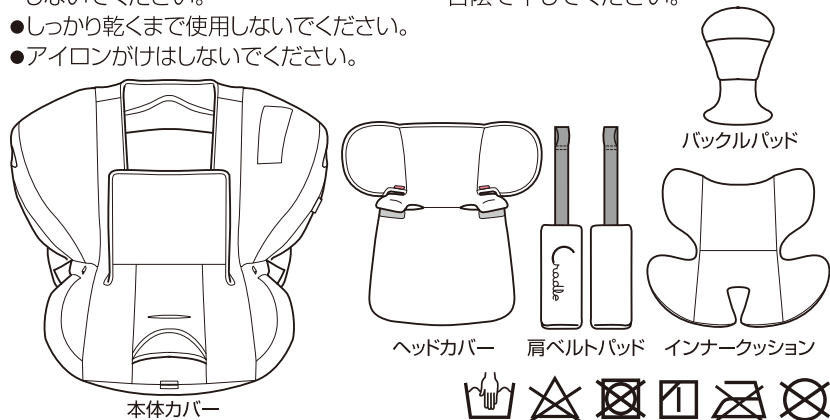
警告 バックルとタングをセットした際に、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



各部のお手入れ

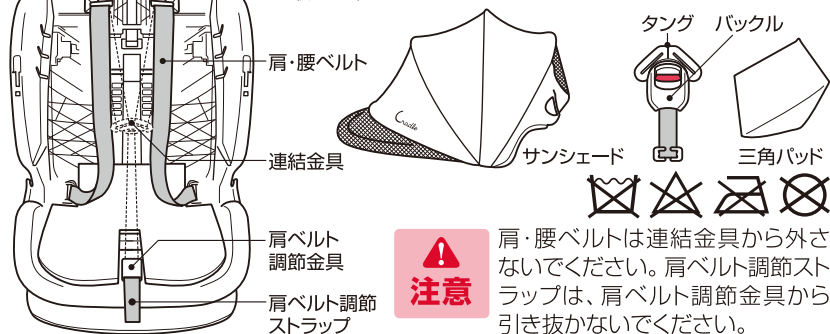
カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。●脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意

肩・腰ベルトは連結金具から外さないでください。肩ベルト調節ストラップは、肩ベルト調節金具から引き抜かないでください。

保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
 - ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
 - ③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - 縫製部品の傷ややぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
 - 有償修理時に要する発送費。
 - 保証書および販売証明書のご提示がない場合。
 - 部品の紛失。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
 - ④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
 - ⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
 - ⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
 - ⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
 - ⑧ご購入、ご購入で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
 - ⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
 - ⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- ※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	クレイドル・オーカロンG II			故障内容記入欄
	お買い上げ年月日	年	月	
お客様	お名前			TEL
	ご住所			
販売店	店名			TEL
	住所			

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
 - ご提供いただいた個人情報、保証書に基づきアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
 - 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。